

はらむら 議会だより



131号



よいしょ祭り こどもと一緒に・・・ハツ手区踊り連

9月
定例会

特集

28年度一般会計決算

村のお金は怎么样了？

P2

P3

視察報告：特別養護老人ホーム恋月荘

P5

一般質問 村政を問う 9人が登壇

P6



the most beautiful
villages in japan

原村
長野県

第3回定例会を9月1日から19日まで開催しました。

28年度決算は、歳入については、財政調整基金の昨年度1億円の取り崩しに続き、今年度も1億5千万円の取り崩しが行われました。国からの交付税は、年々減少しています。村税徴収率については、99.7%と過去最高となりました。歳出については、村単事業が多くなっているため、一般会計からの歳出が増えました。

決算に関する詳しい内容は「広報はら10月号」に掲載されています。ご確認ください。

本特集では、議会が注目した歳入歳出の一部をピックアップし、紹介します。

教育 社会体育館・中央公民館改修工事

2億3540万円

社会体育館は耐震化等改修工事として、天井パネルの撤去、バスケットゴールの改修、全館LED照明化、トイレ、暖房施設の改修等を行い、安全で明るく使いやすい施設とした。

中央公民館は暖房施設の改修、各部屋の改装、外壁の修繕などを実施し、施設の延命化と利用環境の改善を図った。



改修された社会体育館

福祉 老人医療費特別給付金は増加 1億1133万円

支給対象を満65歳以上から、段階的に引き上げて、28年度は満66歳以上となったが、新薬の費用が増え、1億500万円の予算を上まわった。

尚、後期高齢者医療の広域連合への負担金は別に7120万円であった。

Q 今後の見通しは。

A 新薬の関係でしばらくは増加傾向で推移し、1億2500万円前後にはなる。

福祉 子ども支援としての保育所の充実 2128万円

11時間保育と一時保育事業。

Q 時間外・一時保育の利用状況の傾向は。

A 時間外保育はあまり変わらない。一時保育は急増している。

教育 小中学校施設改修・整備 2億799万円

小学校プールサイド高遮熱ゴムチップ舗装工事・小学校廊下腰板工事・中学校校庭整備と備品購入。

Q 高遮熱チップの効果は。

A プールサイドの高熱化をくい止め、児童が安心してプールサイドで休める。

教育 外国語指導助手を2人に557万円

外国語指導助手ALTを1名から2名に増員。小学校や保育園での英語への興味関心を育てる。

商工 観光 (有) 樅の木清算負担金 913万円

(有)樅の木は、平成13年3月に、東京魚国(株)〈現在(株)レパスト〉と原村で設立した会社。
(有)樅の木の解散に伴う清算の負担金。村の負担割合は1/2。

決算
特集

歳入総額：44億4518万3054円

歳出総額：41億6322万7781円

28年度一般会計決算を認定
村のお金は怎么样了？

歳入

ふるさと寄付金が大幅増加

727万円

寄付金は、昨年より202件、466万円の増加。
ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の活用により大幅増。

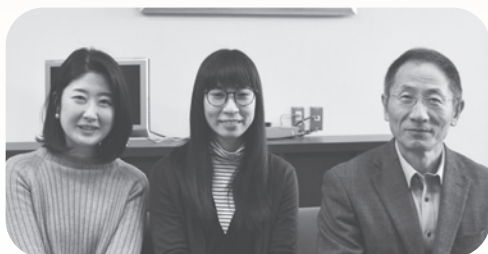
Q 今後の課題は。

A サイト運営に委託料はかかるが、寄付額は増えている。
返礼品を提供してくれる村内事業者との調整は必要になってくる。

総務

地域おこし協力隊員を
2名採用 251万円

企画・振興情報発信と農村・商工観光特
産品ブランド推進担当。Instagramな
どから発信される原村の様子は、「原村を
知ってもらおうきっかけ」となっている。



地域おこし協力隊 中学校校長先生と一緒に。
左：尾島さん 右：平岡さん

消防

小型動力ポンプ付積載車
を購入 849万円

更新時期となり、小型動力付ポンプ積載車
を購入し、第1分団ハツ手屯所に配備した。
更新基準は自動車、ポンプ共に24年。

農林

木質バイオマス資源導入
活動計画策定 931万円

村内の村有林・私有林の調査・検討し、化
石燃料から自然エネルギーへと代替してい
く計画を策定した。

移住

農業

観光

地方創生推進交付金事業

「地域の魅力発信による移住交流推進事業」

371万円

移住促進のための移住相談会や現地見学会、今治産タオルハンケチ配布な
ど6回のPR活動。127名の参加があった。

「魅力ある農業をみんなで育て再生する事業」

215万円

マスコットキャラクターストラップ作成、おいしい物語、銀座NAGANOな
どでの農産物のPR活動。

「原村中央高原の再生による地域づくりと観光振興事業」

745万円

オーナー意向調査・ペンションオーナー体験ツアー・シェアオフィス起業希
望者体験ツアーなど、中央高原再生の道を模索・検討。

議案 審議

第3回定例会を9月1日から19日まで開催。28年度一般会計決算など村長提出議案15件、議員提出議案2件、陳情4件を審議。
ここでは、議会が注目する主なものについてピックアップします。
(詳しい内容は「広報はら10月号」、村のHP、議会HP議事録をご覧ください)

認定

28年度一般会計決算

28年度決算の収支状況は以下の通り

歳入総額	44億4518万円(前年比 8.3%減)
歳出総額	41億6322万円(前年比 7.2%減)
収支差引額	2億8196万円(前年比 21.9%減)
実質収支額	2億8073万円(前年比 20.7%減)
単年度収支	▲7332万円
実質単年度収支	▲2億2090万円

実質公債費比率は4.3。財政健全化判断比率は、いずれの比率についても「早期健全化基準」を下回っており、健全な財務状況を示している。

討論

●反対討論

- ・ 樫の木荘の建設委員会が非公開である。重要案件であり、公開とすべき。
- ・ 木質バイオマスは900万を超える事業であるが、議論が進んでいない。
- ・ 老人医療費特別給付金の支給年齢は65歳以上を堅持すべき。
- ・ 若者定住補助金は除外地域をなくすべき。

●賛成討論

- ・ 適正な予算執行により、事業が実施されている。

可決

29年度一般会計補正予算(第2・3号) 主な内容

理事者等のプケコへ訪問 168万円

村長・教育長・議長・通訳の4名。期間は、11月8日~14日まで7日間。

情報化推進事業 240万円

セキュリティ強化によって、事務効率の低下を招いている。
不便さ解消のための専用プリントサーバー22台とパソコン3台の設置。

討論

補正予算(第3号) 内容：プケコへ訪問団に議長を加える

●反対討論

- ・ 財政的に厳しい状況でプケコへ訪問に費用が使われるのはどうか。

●賛成討論

- ・ 村長と議長は村を代表する同等の立場である。議長が行くことに賛成。

特別会計

有線放送事業

サラダチャンネル設備関連費は、984万円。

サラダチャンネルは、29年度末で廃止。

農業者労働災害共済事業

加入数673戸で減少傾向。
少ない費用で加入できる村独自の制度。雇用者も加入できる。
PRをするべきとの意見あり。

国民健康保険事業

前年度に比べ、医療費は4.3%減少。一人当たりの医療費は、31万2225円で、1.5%減少。
肺ガン新薬による医療費増額。
保険税徴収率は97.4%(過去最高)

企業会計

下水道事業会計

28年度諏訪湖流域下水道事業にかかる維持管理負担金の単価改正に伴い、1㎡あたり5円の使用料の増額改定を行った。

第3回定例会（9月1日～19日） 表決結果

議案第28号	原村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
議案第29号	原村営住宅管理条例の一部改正	可決
議案第30号	29年度一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第31号	29年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第32号	29年度水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第33号	29年度下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
認定第2号	28年度国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定	認定
認定第3号	28年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計決算の認定	認定
認定第4号	28年度有線放送事業特別会計決算の認定	認定
認定第5号	28年度農業者労働災害共済事業特別会計決算の認定	認定
認定第6号	28年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定
議案第34号	28年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決・認定
議案第35号	28年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決・認定
陳情第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書 《提出者：長野県教職員組合諏訪支部 代表者 村瀬 敏行》	採択
陳情第4号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書 《提出者：長野県教職員組合諏訪支部 代表者 村瀬 敏行》	採択
陳情第22号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情 《提出者：全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳》	不採択
陳情第23号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書 《提出者：中信地区私学助成推進協議会 会長 手塚 貴雄》	不採択
発議第6号	義務教育費国庫負担制度の堅持・国庫負担率の拡充を求める意見書案の提出 《提出者：社会文教常任委員長 阿部 泰和》	可決
発議第7号	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書案の提出 《提出者：社会文教常任委員長 阿部 泰和》	可決

以上、全会一致

賛否が分かれた議案等の結果		結果	矢島昌彦	鮫島和美	永井和人	宮坂早苗	阿部泰和	内田章子	松下浩史	小池和男	小平雅彦	芳澤清人
認定第1号	28年度一般会計決算の認定	認定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第36号	29年度一般会計補正予算（第3号）	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席、議長は可否同数時のみ裁決する

本会議で採択された請願・陳情は、委員会又は議員提出議案として、可決した場合、原村議会議長名で国会又は関係行政庁宛に意見書を提出します

移転新築された特別養護老人ホーム恋月荘を視察しました

ユニット単位で
定員は入所90床、短期入所10床で、全室個室となっている。原村

地域との交流の場
高原の地に立つ館内に入ると、ボランティア活動・イベント等、地域との交流に活用できる多目的スペースが広がっていた。庭には草花が植栽されていて温かさを感じた。



各ユニット中央には入居者の憩いの場が

室となっている。原村
心して生活が出来ていると感じた。

充実した健康管理
富士見高原病院との連携で、医師が回診するなど、利用者の健康管理がおこなわれ、安心して生活が出来ていると感じた。

施設内で調理
生活の楽しみの一つである食事は、地域の食材を使用。季節感のある食事にと、施設内で調理され、食へのこだわりを感じた。

の入所者枠は3名。10室を1ユニットとしている。それぞれのユニットにはお茶の提供、テレビやゲームを楽しめる入所者の心身に優しい空間があった。また、入浴もユニット単位でスケジュールが組まれていた。

視察報告

会期中に、各委員会及び全議員による事務調査や視察研修を行っています。9月14日に、富士見町落合に本年移転新築した特別養護老人ホーム恋月荘の視察を行いました。

一般質問

村政を問う

一般質問とは、議員が村の行財政について疑問点をたずねることをいいます。議会だよりでは、目次には全質問項目を、各議員のページには主な質問内容を掲載します。くわしい議事録は村のホームページに掲載します。今議会では、9人の議員が一般質問を行いました。

■ 芳澤清人 議員……………6

1. 小学校の英語教育
2. 外来植物の撲滅

■ 永井和人 議員……………7

1. 樫の木荘
2. 人材登録制度の創設

■ 小平雅彦 議員……………7

1. 教育行政の推進
2. 農業協同組合との連携
3. 役場職員の心身の健康対策

■ 鮫島和美 議員……………8

1. 災害対策
2. 高齢者の移動手段の確保
3. 平和教育

■ 内田章子 議員……………8

1. 樫の木荘建て替え見直し
2. 入学準備金事前支給
3. 軍用機の飛来

■ 矢島昌彦 議員……………9

1. 社会福祉協議会・原村振興公社
2. 観光の一翼を担うペンション村をどうするか

■ 松下浩史 議員……………9

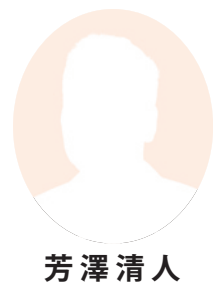
1. 原村出身者の意見を村政に反映できる仕組み
2. 若者の移住・定住促進対策
3. 自動火災報知機設備の基準見直しへの対応
4. 中央高原活性化

■ 宮坂早苗 議員……………10

1. 東京オリンピック・パラリンピック
2. 農林業の振興
3. 子育て支援として、高校生通学費補助制度の新設
4. 共同墓地設置
5. 災害時の避難所開設

■ 阿部泰和 議員……………10

1. 小中学校の今後
2. 社会体育の展開
3. 観光資源の発掘



芳澤清人

英語教育への対応

質問 小学校では30年度より3年生から外国語が前倒しされ英語が必修化される。時間数的確保、教員の英語指導についてどのように対応するのか。

教育長 既に1年生より外国語を取り入れ実施しており、時間数はほぼ確保されている。5・6年生については水曜日を6時間授業にするか、週3日15分間の帯授業として扱うことが考えられる。教員の英語指導は英語教育推進リーダーを中心に指導方法や教材の選択及び評価等について全職員が研修を進めている。

英語の専門指導員の受け入れ

質問 英語専門指導員の受け入れの考えは。

教育長 教科化に向けて、教員、担任、ALTの各業務や連携を強化するため、専門指導員の必要な支援アドバイザーは必要になってくる。村独自で経験と知識を有した講師や支援員の確保を模索している。

外来植物の駆除

質問 村主導による特定外来植物の除去運動を実施することが出来ないか。

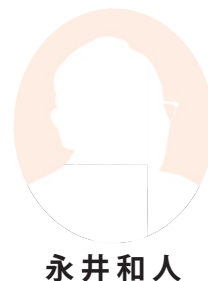
村長 正副区長会の中でもいろいろ提言をいただいている。来年度において区長とも協議しながら検討していきたい。

特定外来植物除去ボランティア活動

質問 特定外来植物除去にボランティア活動



ボランティアによる外来植物オオハングウソウの駆除作業



永井和人

縦の木荘の検討状況は

答 概要がまとまり次第、

住民説明会を開く

縦の木荘

質問 縦の木荘の建て

替について、耐震診断の結果どのような検討状況か。また、北側の別館はどうするのか。

村長 耐震診断の結果、

鉄筋のさびはほとんどなく、思ったより良い状況であった。耐震補強をすれば、30年程度の延命が図れる。北側の別館は建設委員会でも利用するのが無理とすることで耐震診断の対象からはずした。

この結果を縦の木荘建設委員会に報告し、改修計画を前提とした整備計画の見直しを再検討するようお願いしている。財政状況をみて、できるだけ経費をかけな



耐震診断の対象からはずれた縦の木荘北側の別館。撤去後、建て直しが検討されている。

いスリムな宿泊棟を建設し、低料金で利用できるような改善計画の検討をお願いしている。

更に①防災拠点・防災避難所機能を持たせること②村民交流・福祉交流施設であること

③観光拠点・合宿機能を持つことや自家発電装置の設置などの検討をお願いしている。

概要がまとまり次第、住民説明会を開催する。

人材登録制度の創設

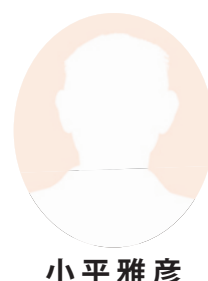
質問 専門的な知識や、

技術を有する優れた人材が村内にはある。一方、教わりたいと思っ

ている人も多い。需要と供給の求めがありながら成立しない。両者が登録しておき、教育委員会が仲介することは出来ないか。

村長 知識や技能をも

つ人を取り込んでデータベース化を計りたい。教育委員会云々というのは考えていない。



小平雅彦

教育環境充実の

課題と方向性は

答 保小中、一貫した学びを進める

教育環境の充実

質問 原小中学校の教

育の現状、個性豊かで充実した教育の推進を図るための課題と方向

は。

教育長 原村の良さは、

1保育園・小学校・中学校の学習環境にある。保小中の連携、小中の学びの共有を進め、自らの考えを持ち、判断し、課題を解決できる主体的学び教育に取り組む。

今後は中学校のプール改修、高所の転落防止、ICT教育、デジタル教科書への対応が課題。

農業振興

質問 村の特色を生か

した農業振興、担い手

の育成、農産物の付加価値化など行政施策推進に農業協同組合との連携は。

役場職員へのケア 役場職員の心身の健康、メンタル対策は。

村長 米の生産数量目標配分制度が廃止になる。今後の課題は米の需給調整、収益性の高い園芸品目の導入による経営安定化対策など

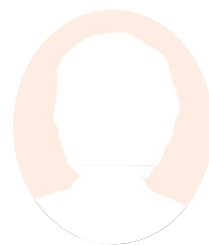
である。農協と一丸となり組んで行く。

村長 組織のトップによる診断フォローが大きな流れ、必要ならメンタルヘルス宣言を検討し、職員のメンタルヘルス面での対策に取り組んで行く。



小学校運動会

小学校運動会には来年度入学予定の保育園児、幼稚園児が参加する交流プログラムもある



鮫島和美

緊急災害時の対策

質問 緊急災害に対する職員の体制は具体的に検討されているか。

村長 原村地域防災計画により、活動開始基準を定めている。昨年5月に相互応援協定を結んだ南三陸町とも随時協議し、情報交換を行っている。

質問 災害発生時の各避難施設の被災者受け入れについて具体的検討ができていますか。特に夜間の災害発生の場合に、被災者が自然文化園、中央公民館等の中に避難することができているのか。鍵の管理の問題等、住民は心配している。

総務課長 自然文化園等の鍵の管理など、村

避難施設の受け入れ態勢はできているか

答

災害時に対応できるように検討する

ではできていない。緊急時に対応できるように検討する。

公共交通

質問 高齢者の買い物、通院、通所等の問題は深刻である。高齢者の「生活の足」確保への対策は。

村長 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会で協議、検討している。その中で新しい方向性を見出していきたい。

平和教育

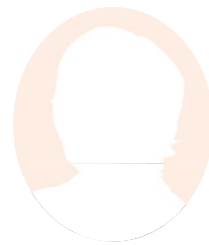
質問 北朝鮮問題を中心に国際社会の緊張が高まっている今、若い世代への平和教育は重要である。諏訪地域で、原村を除く5市町が、



避難場所看板

村内に、指定避難所15箇所、指定緊急避難場所9箇所、指定避難所15箇所を指定。

樫の木荘



内田章子

質問 耐震診断の結果を受けて、今後どのように検討していくのか。

村長 耐震補強すれば、30年は十分使える施設であると報告した。いかに総費用を抑えた形に対応できるのかを大前提に宿泊棟を建設することで検討していた。

質問 建設委員会を非公開とした理由は何か。

村長 会議室への入室希望があった場合、委員会が始まる前に委員会で入室の可否を判断されている。冷静な判断を仰ぐために公開しなかった経過がある。現在も同様な判断ですめている。

質問 住民説明会の開

入学準備金の事前支給について

答

12月議会で補正予算を提出したい

催が必要ではないか。

村長 概要がある程度まとまれば住民説明会を開催する。

入学準備金

質問 国の制度拡充を受けて、入学準備金の事前支給についてどのように検討してきたのか。

教育長 次年度入学の小学校1年生、新中学1年生から入学前に支給を受けられるよう準備をすすめていきたい。12月議会で補正予算を提出していきたい。

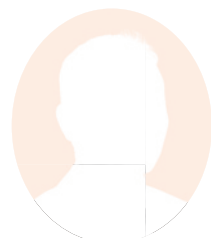
軍用機の飛来

質問 軍用機の飛来について、村としての調査と国・県への調査要請をする考えは。



樫の木荘

10月に建設委員会から答申が出て、住民説明会が行われた。本館の耐震補強としての改装、別館取り壊し後の新築の案が示された。



矢島昌彦

社会福祉協議会

質問 社会福祉協議会に600万円近い福祉事業を委託し、200万円以上の補助金も支出している。事業運営は適切か。

村長 委託事業は原村地域福祉計画を推進している。住民支え合いマップの作成やボランティア活動など多くの事業をしている。特にねこの手サービスは登録者も増え成果は上がっている。

補助金は職員の研修等、積極的に取り組み若手リーダーを育成している。

質問 社協職員の給与は諏訪6市町村の中で格段に低いと聞く。村職員の給与はラスパイ

原村職員の給与 見直しは喫緊の課題

答 早急に改善し引き上げていく

レス指数は、県77市町村の下から5番目と低く、優秀な人材の確保はできない。喫緊の課題として村職員の給与を引き上げるべき。

村長 原村職員のラスパイレス指数は非常に低い。早急に改善し給与は引き上げる。

今後の原村観光

質問 振興公社の組織は貧弱であり、見直しが必要か。

今後の原村観光を考えると、自然文化園や縦の木荘周辺はフットサルなど若者に人気のあるスポーツ施設や縦の木荘のグラウンドを400mの陸上競技場に整備し、スポーツを新たな観光の柱にした取

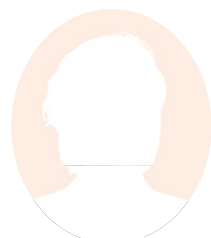
り組みの要望があるかどうか。

村長 自然文化園の経営診断を三菱UFJリサーチ&マーケティング社に依頼した。文化園の生き残り策などのコンサルの報告を受け、進め方を決める。スポーツ施設などは今後の課題。

質問 ペンションは観光施設として活かされるべき。ペンションを購入して原村観光の担

い手になる、40代以下の若い人に、補助金制度をもうけて支援する考えは。

村長 非常に希少な提言。時限立法的な形で、また起爆剤的なものも必要と認識している。



松下浩史

機会づくりを

質問 東京原郷友会のような村外で活躍されている原村出身者との交流は有意義。村外の若者とも、そのような機会があればと感じる。

ふるさとの魅力の再確認、Uターンを考えるきっかけ、外から見た原村への意見をいただく機会が必要と考えるが。

村長 村では現在、成人式やふるさと大会がある。成人式は学業等で故郷を離れている出身者や恩師の先生方が、そして、ふるさと大会では東京などで活躍されている有志が参加されている。双方とも、故郷を離れている方々に参加いただける機会

原村出身者の意見を村政に

答 機会づくりは必要と考える

であるが、Uターンのきっかけや、外から見た原村への意見を細かく聞く場としては十分でないと感じている。

村の魅力を確認し、Uターンのきっかけや原村への意見を聞くことは大変に重要である。人口減少の現状の中、その抑制につなげることでできる機会であれば、機会づくりは必要だと考える。

質問 機会づくりのきっかけとして、県内外でも例のある同窓会補助を行い、村に訪れることを促しては。

村長 補助となると、当然成果報告書や実績報告書に基づいて出すことになる。成果報告書の提出等を課した場

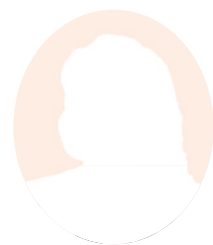
合、補助申請をしていくのか疑問がある。

若い人たちのグループがある程度東京あたりでまとまって、話があるから行政にもできて欲しいというような会ができれば最高かなとは考えている。

ふるさと大会（8月原村）
東京原郷友会と村の行政・議会とは、年2回（6月東京・8月原村）の交流が行われて



第30回 原村ふるさと大会



宮坂早苗

2020東京五輪 事前合宿の誘致を

答 条件を満たす施設がない

五輪事前合宿誘致

質問 2020東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツに関心が高まる絶好の機会である。新しい種目

バスケットボールの3×3などは、従来のコート半分までできる。ポルダリング・空手・ボッチャやゴールボールなども人気が高くなっている。

スポーツは人を呼び込むことにつながる。事前合宿誘致の検討を。

村長 現在、原村のスポーツ施設に要件を満たす施設はひとつもない。練習施設・宿泊施設についても、言語対応・飲食サービス、非常に厳しい状況である。今後、候補地になる

ためには、要件を満たす費用負担を含め、全自治体の負担になる。財政的にひっ迫している状況で新たな投資は考えられない。

質問 長野県は東京五輪の重要な食材の供給地のひとつとなる。GAP、取得の支援は、

村長 長野県の中では、2社取得している。一農家が独自で行うのは不可能だと考える。農協と行政で、希望があるかどうかを踏まえて、今後取り組んでいくべき課題である。

質問 農産物の販売を業を実施している。首都圏での農産物販売を通して村のPRにも努めている。

美しい村連合のロゴマークについては、どのように使えるか担当部門と確認を取りながら進めていく。八ヶ岳定住圏では、直売施設の連携を通して情報発信をしていく。

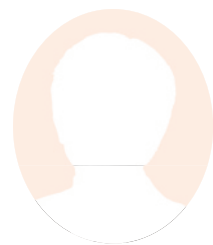
質問 農林業の振興について、村の役割は。

農林業の振興

村長 村内農産物のブランド化を目指した事

用語 GGAP とは？

ドイツケルンにある民間の非営利組織。過去にヨーロッパで多発した食品安全危機問題に対し、小売業者団体が安全な農産物を目指す基準をと手続きを定めた規定を作った。設立当初はEUREPGAPと呼ばれていたが、取り組みが世界に広がりGGAPと改称された。



阿部泰和

小中学校の今後の展望は

答 ハード・ソフト両環境づくりを推進する

教育の充実

質問 前教育長は学習環境の充実と有能な教職員の配置、現場主義の徹底で原村の教育を

発展させた。新制度の教育委員長、教育長兼任という立場から、広い視野に立って原村の教育を充実させるには、

教育長 原村教育の重点として掲げる「かしこくやさしくたくましく原つこ」を目指す。前教育長の培ってきた原村教育の良さを引き継いでいく。グローバル社会での生きる力の育成にむけて、連続的な学びを大切にしながら教育を推進する。安心して子育てのできる環境整備に向け、原村子ども子育て支援セン

ターの構築で、ハード・ソフト両環境づくりを推進する。さらに、主体的で、対話的で、深い学びを求めるインクルーシブ教育を充実させる。デジタル教科書・プログラミング教育の導入に対応した設備と指導者の育成を進めた。

討していく。さらに、保育園の運動会に小学生がかかわれたらいい。

質問 キャリア教育の充実を考えているか。

教育長 本年度から中学で「原村学」という取り組みを始めた。

質問 小中連携について、信濃町は小中学校8校を統合し、小学校低学年から高い向上心が芽生えているが。

教育長 信濃町小中学校は、義務教育学校という位置づけになる。原村でも、中学の文化祭に小学校6年生の参加、小学校の運動会に中学生が協力できるような体制を具体的に検

用語 インクルーシブ教育とは？

インクルーシブとは、「包括的な」「包み込む」という意味。

インクルーシブ教育とは、一人ひとりが多様であることを前提に、それぞれの子どもの能力や困りごとが考慮された「一人ひとり丁寧に」と「みんなと一緒に学ぶ」を両立させる、すべての子どものための教育、という意味で使われる。

事務組合報告

一部事務組合とは、諏訪地域の市町村で、単独で処理することが困難な事務について共同して処理するために設けられた特別地方公共団体です。

8月末から10月にかけて、各事務組合議会が開催されました。28年度決算及び全議案を可決・認定しました。

今回は、新設された諏訪広域公立大学事務組合を中心にお知らせします。

諏訪広域公立大学

事務組合

長野県中南信地域における唯一の工学系大学として、平成30年4月に公立諏訪東京理科大学が開学される予定。そのため、協議、検討などの開学の準備は、公立化に向けた意見交換会を経て、着々と進められた。

今年7月に、諏訪広域公立大学事務組合が発足し、「事務組合」の運営に関する基本が定められた。

10月には、諏訪広域公立大学事務組合全員協議会が開かれた。
①主体的人材の育成、地域に貢献し、世界にも羽ばたく人材づくりをする。

②最先端の教育と研究を通して地域産業と文化の振興に取り組み、地域創生の拠点となることをめざす。
③公立大学としての教

育研究及び運営の体制・環境を整備し、将来の発展に向けての基盤を固める。

という公立諏訪東京理科大学の基本理念や学科編成、募集定員などを含めた中間目標案が提出された。今後、11月7日の諏訪広域公立大学事務組合議会において決定され、平成30年4月の開学をめざす。



諏訪東京理科大学

諏訪中央病院組合

病院事業では、数値の告知にかたよる傾向から対話や触診等、暖

かい医療を目指すことや職員のケアマネジメントの徹底を図ることが議論された。

看護専門学校は看護師の国家試験合格8年連続100%。

諏訪南行政事務組合

静香苑の使用料が改定された。使用する件数増加に伴う施設維持費、修繕、将来の改築・建て替えに備えるため、値上げとなった。

改定後の静香苑使用料

区分	使用料
13歳以上	10,000円（組織市町村外 50,000円）
13歳未満	7,000円（組織市町村外 35,000円）
死胎	4,000円（組織市町村外 20,000円）
胞衣	2,000円（組織市町村外 10,000円）

※組織外とは茅野市、富士見町、原村以外を指す

一部事務組合別 28年度決算一覧

会計名	歳入	歳出	差引額	原村負担金
諏訪中央病院組合				
病院事業	8,939,311,617	9,587,296,729	▲ 647,985,112	31,498,000
老人保健施設	404,629,572	399,006,349	5,623,223	2,750,000
老人福祉施設	466,005,117	478,758,407	▲ 12,753,290	
看護専門学校	167,140,605	154,511,279	12,629,326	12,078,000
諏訪南行政事務組合				
一般会計	112,514,775	101,735,775	10,779,000	5,954,505
ごみ処理特別会計	488,595,338	430,927,318	57,668,020	41,109,000
諏訪広域連合				
一般会計	297,383,847	237,091,348	60,224,999	11,554,725
救護施設八ヶ岳寮特別会計	418,718,515	380,272,202	38,446,323	2,749,890
介護保険特別会計	18,236,215,049	17,697,298,412	456,670,817	96,825,804
諏訪広域消防特別会計	2,322,096,092	2,120,598,175	201,497,917	130,095,114
ふるさと振興基金事業特別会計	22,518,947	15,465,064	7,053,083	
南諏衛生施設組合				
一般会計	207,638,380	175,042,541	32,595,839	53,680,000
諏訪広域公立大学事務組合				
	-	-	-	-

諏訪広域公立大学事務組合は29年度設立のため、28年度決算はなし



ボランティア活動で活躍

「声」のコーナーでは、村の方々からお話をいただいています。
今回は、ボランティア活動や村との協働作業で活躍されているお二人の声をお届けします。

小倉佳美さん（払沢）



居場所づくり

手話サークルに入ったことがきっかけで、ボランティア連絡協議会の会長をやっています。ボランティアは手話で「共に歩む」と表します。共に歩める仲間がいることは、喜びであり感謝しています。いろいろなボランティア活動を通して、この仲間と一緒に、子ども達のふるさと原村をもっと魅力ある村にしたいと思うようになりました。

誰でも集える場を地域に作ろうと、払沢公民館でサロン「ありんこ」を始めました。旧「原宿」の後にできた「おいでなして原宿」はボランティアの拠点となり、ボランティアの輪が広がって行くことを期待します。

環境や食の安全に対する活動もこの拠点から発信し、多くの村民がかかわって行けるようなくみ作りができればと思います。

杉澤重雄さん（上里）



新しい村づくり

手始めとして平日の夜間・休日に議会の開催を推奨する。子育て世代や若者に村議員への門戸を広げ、多様な議論を戦わせ、魅力ある村政を目指す。「未来は次世代層が主役」と考えたい。

先日新聞に地方議員の「なり手不足」が深刻化している記事が掲載された。議会を「廃止」し、町村総会が現実味を帯びている。原村でも平成23年の選挙は「無投票」であった。決して他人事とは言えない。

なり手不足の原因は「議員と仕事の両立はむずかしい」のが主な要因のようだ。そのため議員報酬や議員としての時間配分の検討が必要になるが、県内の喬木村は12月から兼業でも議員になれる試みが始まる。先行する事例を参考に進めてほしい。尚、平日の夜間・休日の開催は傍聴者の増加にも期待出来る事を付け加えたい。

皆さんはこの改革をどのようにお考えですか？

お知らせ 議会報告・懇談会を開催します

報告・懇談会の開催日時と場所は

11/19（日）19時～ 上里公民館
11/24（金）19時～ 八ッ手公民館

両日も、どなたでもご参加いただけます。
皆さんの声をお聞かせください。

編集後記

朝晩の冷え込みが進み、冬の気配が感じられる頃となりました。

さて、今議会は、28年度決算と村長・教育長・議長がニュージラントブケコへ訪問するという補正予算を可決・認定しました。

今後も議会と行政が力を合わせ、皆さんが笑顔で幸せに暮らせるよう努めていきます。議会だよりが議会に関心を持っていただくきっかけとなることを願っています。

（宮坂記）

はらむら議会だより 第131号

平成29年11月10日発行
発行：原村議会
編集：議会広報・広聴特別委員会
〒391-0192 長野県諏訪郡原村 6549 番地 1
TEL：0266-79-2111 FAX：0266-79-7951
<https://www.vill.hara.lg.jp> 村議会をクリック

議会広報・広聴特別委員会

委員長 松下 浩史
副委員長 宮坂 早苗
委員 鮫島 和美
委員 阿部 泰和
委員 芳澤 清人

議会の傍聴にお出かけください 次回の定例会は

12月1日（金）

9時開会予定です

役場2階総務課前で受付後、傍聴席にお越しください
お問い合わせは、議会事務局に（0266-79-7951）